

北朝鮮 拉致問題

極秘文書から見える真実

210781188 大澤夏希

有田茂生(集英社新書、2022年) 222ページ

第一部 『極秘文書』

- 第一章 政府の「極秘文書」を分析する
- 第二章 横田恵さんは「極秘文書」にどう書かれているか

第二部 『外交の問題』

- 第三章 拉致問題は解決できるのか

第一章 政府の「極秘文書」を分析する

1 極秘文書

ア) 帰国した**5人の拉致被害者**からの聞き取り調査

イ) 安倍元総理による極秘文書の**存在否定**

ウ) 報告書の実物を入手

A) 実行犯について

B) 拉致問題関連の未解明の謎

C) 安否不明の拉致被害者のその後

第一章 政府の極秘文書を分析する

2 日本社会で拉致問題が話題

ア) 拉致被害者田口八重子さん = 李恩恵

イ) 大韓航空機爆破事件

ウ) 北朝鮮工作員のキムヨンヒに日本語を指導

第一章 政府の極秘文書进行分析する

3 北朝鮮の拉致の目的

ア) 作員との養成

A) 学校で作員としての訓練

B) 短期の訓練後日本への帰国という話

→とりやめ

イ) 日本で彼らの失踪が問題

A) 作員への日本語教育

B) 日本の新聞の翻訳や各種資料づくり

第二章 横田めぐみさんは極秘文書にどう書かれているか

1 横田めぐみさん

ア) 拉致問題の象徴

イ) 帰国した五人の拉致被害者の証言

A) めぐみさんとの思い出

B) 愛され、いたわられていたことがわかる言葉

第二章 横田めぐみさんは極秘文書にどう書かれているか

ウ) 北朝鮮にとっても特別な存在

A) 1993年3月13日、死亡

B) 帰国した拉致被害者の証言

- 1994年3月、義州の49号病院

- 精神病専門病院

C) 極秘文書による北朝鮮側の主張の転覆

第二章 横田めぐみさんは極秘文書にどう書かれているか

2 拉致された目的

ア) **いくつかの不可解な事件**

イ) たまたま職員を見て拉致されたのではない

- 若い女性がターゲット
- 何人か物色
- 背後から襲い、車に乗せ、北朝鮮へ連れていった

第二章 横田めぐみさんは極秘文書にどう書かれているか

3 遺骨の提供

ア) 横田めぐみさんのDNAとは不一致

イ) 別人のDNAが検出



第二章 横田めぐみさんは極秘文書にどう書かれているか

【文書で明らかになったこと】

- ①拉致被害者たちは招待所に隔離、行動を制限
→生活は保障され、作業員教育や翻訳作業に従事

- ②拉致被害者の指導員
→人的引き継ぎの継続性はずさんな側面があるが、
管理番号が与えられ、全体として厳格に管理

第二章 横田めぐみさんは極秘文書にどう書かれているか

③13歳で拉致された横田めぐみさん

- 曾我ひとみさん、田口八重子さんと共同生活
- 住まいが近かった蓮池薫さんとは親密な関係
- 精神的、肉体的に深刻な内容をかかえながらも一生懸命

④北朝鮮側発表には明らかな虚偽

第三章 拉致問題は解決できるのか

1 北朝鮮の成立

ア) 1948年 **朝鮮民主主義人民共和国**

イ) 北朝鮮で暮らしたいと思う人が多くいる時代

A) 日本社会の貧困・差別

B) **地上の楽園**と喧伝

ウ) 9万3千人が北朝鮮に向かう

A) 日本を離れた日本人妻が1800人

B) 日本への里帰りがかなわない状況

第三章 拉致問題は解決できるのか

2 岸田総理の発言

ア) 全拉致被害者の即時一括帰国を求める大会に出席

イ) 安倍総理の言葉をなぞっただけの発言

→ 拉致問題が解決しない理由

第三章 拉致問題は解決できるのか

3 今後の政府の重要課題

ア)核問題・ミサイル問題の解決

イ)蓮池薫さんの意見

A)拉致を指示し実行した人が憎悪の対象

B)今後の拉致問題解決

C)日朝関係に必要な

第三章 拉致問題は解決できるのか

ウ) スローガンと主張

「すべての拉致被害者をただちに一括して日本に戻せ」

●北朝鮮は「八人死亡」を一貫して主張

→北朝鮮の主張の真偽を徹底的・批判的に検証

○日本が国交を結んでいない国か北朝鮮のみ

→日本政府の国際的位置に問題がある

第三章 拉致問題は解決できるのか

結論：北朝鮮と国交を開く道を模索

理由：拉致問題の解決

日本外交においてアジアの歴史で唯一の空白の穴埋め
北東アジアに作られる平和